

平成28年度 徳島県立小松島西高等学校 学校評価計画

1 学校教育目標

教育基本法・学校教育法等の趣旨に則り、本県教育基本目標に準拠し、誠実で自主・自立の精神と豊かな人間性を持ち、徳島県やわが国及び国際社会の発展に貢献できる人間を育成する。

2 本年度の重点課題

- 1 学力向上につながる指導方法・評価方法の工夫改善を行う。
- 2 基本的な生活習慣の確立を図るとともに、家庭との連携を密にし、個々の生徒への支援体制の強化を図る。
- 3 社会で逞しく生きる力の醸成を図り、キャリア教育を充実し、進路の実現をより確かなものにする。
- 4 学校行事や奉仕的活動等に積極的に参加する態度を育み、地域を創生できる人材の育成を図る。
- 5 いじめのない教育環境づくりを進めるとともに、人権問題解決に向けて自主的・主体的に取り組む生徒の育成を図る。
- 6 生命尊重を基盤とする安全教育を推進し、事故防止に努めるとともに、防災対策の強化を図る。
- 7 保護者との連携をより深めるとともに、地域に開かれた学校づくりに務める。

3 自己評価

重点目標		活動計画	評価指標	評価
商業科	商業の各分野で必要とされる計算力・集中力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生は計算力の向上のため、年間を通して週1回の補習を実施する。</li> <li>・全商珠算・電卓実務検定に積極的に取り組ませる。</li> <li>・珠算・電卓競技会に向けて計画的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生は年間を通して補習の時間を確保する。</li> <li>・全商珠算・電卓実務検定の合格率を昨年度より上昇させる。</li> <li>・珠算・電卓競技会で入賞を果たし、四国大会に出場する。</li> </ul>	
食物科	各種検定を活用し、調理師に必要な知識・技術を確実に身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門科目の授業1単位35時間を確保するため3年生週2回、1・2年生週1回7時間目を実施する。</li> <li>・長期休業中等に特別授業や集中講義を実施する。(1～3年生)</li> <li>・授業内容定着のため、小テスト・実技テスト等を実施する。(検査時の専門科目の目標60点)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1単位につき35時間の授業時間が確保できる。</li> <li>・授業内容定着のため、小テスト・実技テスト等を実施することができる。</li> <li>・家庭科技術検定(食物調理)4～1級、食育インストラクター、技術考査の合格率100%</li> </ul>	
生活文化科	各種検定を活用し、アパレルに関する知識・技術を確実に身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗表を作成し、教員や生徒自身が進捗状況を確認するとともに技術の確実な定着・向上を図る。</li> <li>・小テストを実施し、学習習慣や知識の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科技術検定(被服製作)4・3・2級は、100%</li> <li>1級については、85%以上</li> <li>・色彩検定については、3級合格率50%以上</li> </ul>	
福祉科	介護福祉士国家試験の合格率90%を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験出題に対応し、かつ授業時間を確保するため毎週2回7時間目を実施する。(1～3年生)</li> <li>・長期休業中に集中講義を実施する。(1～3年生)</li> <li>・学習内容定着を確認するため校外模擬試験を実施する。(3年生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1単位につき35時間の授業時間が確保できる。</li> <li>・模擬試験の平均点が国家試験の合格基準に到達することができる。</li> <li>・介護福祉士国家試験の合格率が90%となる。</li> </ul>	
共通	基礎学力の定着や、専門性の向上を図るため、学習習慣を身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路ガイダンスや全校集会、ホームルーム活動などを通して学習習慣の定着を促す。</li> <li>・朝のSHR等を利用し5分間学習を実施する。</li> <li>・年3回学習時間調査を実施する。その分析を教室掲示し、自主学習の動機付けを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の5分間学習や確認テスト等を各学年年間100回以上実施する。</li> <li>・期末考査前の学習時間調査を年3回実施し、学習時間が30分以上の生徒を前年度より増加させる。</li> </ul>	
	学校生活全般を通じて、基本的な生活習慣の確立を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校集会などを通してあいさつや言葉遣い、身だしなみなどについて考える機会を持たせる。</li> <li>・毎朝複数教員で登校指導を行い、多遅刻者には学年団や保護者と連携し改善に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回全校集会を実施する。</li> <li>・生徒対象学校生活アンケートを年1回実施する。</li> <li>・年間遅刻者数を、前年より10%以上減少させる。</li> </ul>	

4 学校関係者評価 (主な意見など)

5 次年度への課題